



まちの話題

JA にじと災害時におけるコンテナの供給に関する協定締結式を行いました

7月2日、JAにじとうきは市は災害時に避難所で使うベッドの代替品として果樹用コンテナを供給する締結式を行いました。

コンテナの使用時期は、特産品である柿の収穫期10月前後で、他の時期は倉庫に保管されているため、出水期に段ボールベッドの代わりとして使用します。JAにじで保管しているコンテナは約35,000個でベッドに換算すると約3,500床になります。



今回の締結に高木市長は「フルーツ王国うきはならではの防災取り組みが出来て、大変嬉しく思います」、JAにじの右田組合長も「うきは市で生活されている皆様のお役に立てれば幸いです」と語ってくれました。

ビューティックスインターナショナルから小学生用マスクを寄贈いただきました



寄贈品内訳
子供用(1~4年生) 1,050枚・大人用(5~6年生) 550枚

6月22日、(株)ビューティックスインターナショナル(代表 河村妙子氏)から小学生用マスクを寄贈いただきました。

福岡市内を中心に化粧品等の加工品の製造・販売を行っている会社で、本年5月にバラやオリーブ等の農産物から油等を採取する加工工場(プリンセスガーデン(株))を市内に建設。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で稼働できておらず、何かお役に立てることが出来ればと市内小学生全員に布マスク(約1,600枚)を寄贈して頂きました。



久留米・うきは工業団地に筑水キャニコムが新工場「演歌の森うきは」を建設します

地域への企業立地におけて、福岡県、久留米市、うきは市が連携し造成した久留米・うきは工業団地に、運搬車、草刈作業車等の製造・販売メーカーの(株)筑水キャニコム(うきは市)が新工場を建設することになり、県庁で7月3日、同社、県、本市の3者による立地協定締結式が行われました。海外需要を睨んだ増産体制の確保や大型・中型運搬車製造の拠点として整備される新工場は同社のものづくりへの思いを込めて「演歌の森うきは」と名付けられました。

また、来年秋の操業開始におけて、7月15日に起工式も行われました。



「広報うきは」7月1日号に掲載した13ページ「まちの話題 エリソン・オニヅカ氏のレリーフが到着しました」の記事に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫び申し上げます。

「ハワイ福岡県人会会長名(誤)キース・サクラダ会長 ⇒ (正)キース・サクダ会長」